

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)

A: 十分達成できている

B: おおむね達成できている

C: やや不十分である

D: 不十分である

学校名 **吉野ヶ里町立東脊振小学校**

1 前年度 評価結果の概要

- ・「学力の向上」については、児童のやる気を十分に引き出すことができず、基礎学力の定着までは至らなかった。また、タブレットの効果的な活用については今年度から本格的なスタートである。
- ・「心の教育」については、校内研究を通して道徳科に取り組んできた。しかし、一部の児童については言葉づかいや態度面でまだ課題が残っている。
- ・「健康・体づくり」や「業務改善」「地域愛」等については、一定の成果は出せたものの課題も明らかになった。今年度はその課題克服に向けて、具体的な手立てを講じながらより一層の努力を行っていきたい。

2 学校教育目標

「夢に向かって輝く」児童の育成

～優しく 賢く 逞しい 東脊振の子～

3 本年度の重点目標

- ①学力の向上を目指し、学習規律の徹底と基礎学力の定着を図る。また、全児童に貸与されたタブレットを活かし、スキルタイムや授業での活用の充実を図る。
- ②これまでの研究で培ってきた道徳教育による心の教育を基盤に、あいさつの励行と相手を思いやる言葉づかいの徹底を図る。
- ③豊かな体験活動を通して自己肯定感の醸成を育むとともに、地域との連携を充実させながら郷土を愛する意識をより一層高める。

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目				中間評価		5 最終評価			主な担当者	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	最終評価		学校関係者評価		
						達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内行事等により取組の促進を図る。							・学力向上対策コーディネーター ・学び部
	○一人一人を大切に授業づくり ・ICTの効果的な活用 ・思考力の育成	○「ICTを授業に効果的に活用した」と答える教師を90%以上 ○「ICTを活用した授業は楽しい」と答える児童を90%以上	・学期に1回はICTの研修会を実施する。また、活用方法の情報交流を行う。 ・タブレットを活用したドリル学習 ・思考段階での対話の場面の設定							研究主任 学び部
	○基礎的・基本的な内容の定着 ・学習規律の徹底 ・家庭学習の充実	○授業前に、「次の授業の準備ができた」と答える児童を90%以上 ○家庭学習ががんばろう週間で「目標時間が達成した」と答える児童を90%以上	・本校での学習規律の取り組みの徹底を基本とし、全クラス取り組む。 ・小中連携して、家庭学習のがんばろう週間の日程に取り組む。							・研究主任 ・学び部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○「友達と仲良くできている」「良いこと悪いことを考えながら生活している」と答える児童を90%以上 ○心を豊かにするために読書活動推進学年目標冊数達成児童を85%以上	・朝の学級の時間や帰りの会などに、友達のいいところを見つけ称賛し合う。 ・図書館祭りなどのイベントの開催とその内容を充実させる。また、授業の内容と関連させた本の紹介を行う。							・道徳教育推進教師 ・人権・同和担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ・予防的、開発的な生徒指導の推進	○「いじめ防止等について組織的対応ができている」と答える教師を90%以上	・毎週水曜日の職員連絡会での情報共有と対策内容の徹底 ・毎月の「心のアンケート」の実施と対応 ・予防的な事前指導と問題行動が起こった際のスピード感のある対応							・自分づくり部 ・教頭
	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「自分の夢や目標に向かって努力している」と答える児童を85%以上	・学級目標や個人の各学期のめあて等を張り出すとともに、時々振り返らせ現状を確認させる。 ・学校行事や総合的な学習の時間に、キャリア教育を意識させて取り組む。 ・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健便りの発行 ・食育月間の実施、食の大切さの啓蒙 ・学級活動での食育推進							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童が90%以上 ○朝食をとって登校する児童が100%	・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健便りの発行 ・食育月間の実施、食の大切さの啓蒙 ・学級活動での食育推進							仲間づくり部
	○運動機会の確保と規則正しい生活習慣の確立	○業間休みや昼休みにおいて、「元気に体を動かした」と言える児童の割合を80%以上にする。 ○「早寝」「早起き」の児童の定着率を80%以上にする。	・外遊びの奨励、体育委員会からの全校遊びの提案等で運動機会の確保 ・スポーツチャレンジ参加を職員へ奨励すると共に、お便り等での家庭への啓蒙							・体育、保健担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・18時半頃に退勤の声掛けを行うと共に、平日の19時退勤の厳守 ・金曜日の定時退勤(18時)の奨励							・教頭、校長
	○教職員の勤務意欲の向上	○「仕事にやりがいを感じている」と答える教師を85%以上	・チーム東脊振としての組織的な対応の強化 ・教師自身の自己肯定感が高まるように、慰労と称賛の声を掛け合う。							・教頭、校長

(2) (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	最終評価		学校関係者評価		主な担当者
						達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域愛を高める教育	○ふるさとを愛する児童の育成	○東脊振の良さを「低学年1つ以上、中学年3つ以上、高学年5つ以上」言える児童を85%以上	・生活科や社会科、総合的な学習の時間で地域教材を取り入れる。 ・地域人材の活用 ・道徳と関連させた内容も検討していく。							・各学年主任、教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望